

○演説

瓜哇土木事業ニ就テ

工學士 近藤虎五郎君

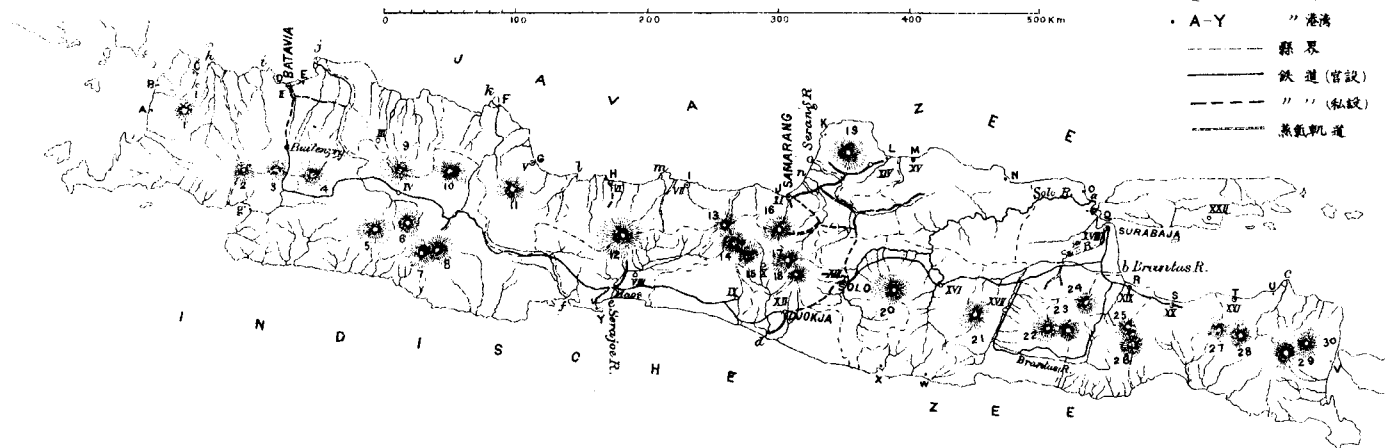
私ハ今日『瓜哇土木事業ニ就テト云フ』演題デ、少シ御話スル譯デアリマス。サテ瓜哇ト云フ所ハ、皆様ガ餘リ御出ノナイ所ノヤウニ思ヒマスカラ、本題ニ立入ル前ニチヨット、一般ノ有様ヲ御話致シマセウト申シマシテモ、人情ナゾノコトハ、至ツテ視察モ下手デ御座イマスカラ、廢メマシテ、大体ノ位置トカ、人口其他、土木行政ノコトニ就テ少シバカリ述べマス。

元來、瓜哇ト申ス處ハ、蘭領東印度ノ一島デアアル。蘭領東印度ト申スノハ此處ニ圖ヲ指ス。此圖畧スニ掲ゲテ置キマシタガ、北緯六度、乃至南緯十一度、東經九十五度、乃至百四十一度。コノ間ノ諸々ノ嶋ノ總稱デアリマス。コレニ圖ヲ指スガ新嘉坡、コレカラ斯ウ掛ケマシテ、スマトラソレカラ、ボルネオトカ、瓜哇トカ、斯ウアルノデアリマス。ソコデ、新嘉坡カラコノ瓜哇マデ四十八時間デ達シマス。赤道ハ丁度此邊ヲ通ツテ居リマス。コノスマトラ、瓜哇ナド稍大ナル島々ヲ總括シテグレートアイランドト云フ名前ガアル。又此邊ニ集ツテ居マス小サナ嶋々ヲレスサスンダト申シマス。瓜哇ハ即チグレートアイランドノ内ノ一嶋デス。大サハ……………ボルネオハ世界デ二番ニ位スル大嶋デアリマスカラ、コレニハ及ヒマセン。又スマトラニモ及ビマセヌガ、併シ一番大事ナ嶋デアリマス。又一番能ク開ケテ居テ、色々ノ土木事業ニモ、見ルベキモノガアリマスノデ、特ニ私ガ、官命ヲ奉シ往ツテ見マシタ譯デアリマス。

第一圖 爪哇島略圖

凡例

- I-XXII 縣廳所在地
- 1-30 著名高山
- α-ο " 河川
- A-Y " 港湾
- 縣界
- 鐵道(官設)
- - - " (私設)
- 蒸氣軌道



符号	川名
a	マロー
b	ブラウマ
c	セムベマン
d	プロコ
e	セプエ
f	タンロイ
g	マンロイ
h	ウチユン
i	タニ
j	ブルム
k	マアウ
l	ロカリ
m	ヒヨアル
n	ヒヨアル
o	ヒヨアル

符号	港名
A	コバアン
B	アンヤル
C	ハタム
D	バツビヤ
E	プリアン
F	インドメイ
G	チメリボン
H	テカル
I	マカロンガ
J	サマラシグ
K	チヤバラ
L	チヤマンナ
M	ヒンバング

符号	港名
N	トウバン
O	シグエ
P	グリツセ
Q	スーラバヤ
R	バスマラン
S	プロボリンゴ
T	ベスーキ
U	パナルガン
V	バンエワンギ
W	バンゲール
X	パチタン
Y	チラチヤツ

番号	縣名
I	バンタム
II	バツビヤ
III	クラツング
IV	グレスン
V	チズリボン
VI	テカル
VII	ベカロンガン
VIII	バンスマス
IX	パケレン
X	ケドゥ
XI	マタラン

番号	縣名
XII	チヨツキヤカリク
XIII	スーラカルタ
XIV	チヤバラ
XV	レンバング
XVI	マチウン
XVII	ケチリ
XVIII	スーラバヤ
XIX	バスマラン
XX	プロボリンゴ
XXI	ベスーキ
XXII	マドゥラ

番号	山名	高
1	カラング	1778 ^m
2	ハリムン	1921
3	サラツク	2275
4	ケヂー	2962
5	パトッハ	2386
6	マレバル	2342
7	バベンタヤング	2615
8	チクタイ	2817
9	タクバンラオ	2075
10	トウングアル	2208
11	チズリマイ	3070
12	スラット	3426
13	ブラウ	2557
14	シントロ	3124
15	スマヒング	3336

番号	山名	高
16	ウツルン	2050 ^m
17	メラブ	3116
18	メラビ	2866
19	モリアン	1600
20	ラウ	3254
21	ウリス	2557
22	ガウキ	2859
23	アルヂエ	3333
24	ベナングン	1650
25	プロモ	2290
26	スマル	3671
27	チエンガン	3090
28	ギンク	3330
29	チウン	3330
30	イチェン	2800

此處ノ都、ハバダビヤト云ツテ、位置ハ東經百六度四十八分、南緯六度七分ニ當ツテ居リマス。コノ瓜哇ノ直グ側ニマドウラ島ト云フガアル、コノマドウラト瓜哇トラーツノモノト見做シテ縣別ニ致スト、二十二縣ニナツテ居リマス、サウシテ面積ハ、八千五百方里バカリ、即チ本邦本州ノ五歩八厘位デス、一縣ノ平均面積ガ三百八十五方里デ、チヨット茨城縣ノ面積ト同ジデアリマス、一番小サナノハベカロンガン縣デ此面積ガ日本ノ一番小サナ香川縣ト同ジ位デ、百四十五方里、又一番大キナノハブレヤンガ縣、コレガ千三百二十方里、丁度九州ノ半分程デアリマス。人口ハ一昨年未ノ調ニ據リマスト二千五百七十方程アリマス、其人種別ハ歐羅巴人―歐羅巴人ト云フノハ、總ベテ白哲人種并ニ、ソレト土人トノ間ニ出來タ所ノ者、及ヒアルメニヤ人ト波斯人ト、コレダケヲ共ニ歐羅巴人ト同ジニ視テ居リマス、ソレガ五万四千四百九十人、土人ガ二千五百三十七万人、支那人ガ二十五万七千四百人、アラビヤ人及ヒ其他ノ人種ガ三千人モ居リマス、ソレデアリマスカラ、土人ガ丁度總人口ノ九分八厘ヲ占メテ居リマス。

重モナル町ハ五ツデ、此處ニ圖ヲ指ス：第一圖ニ赤ク記テ置キマシタ。コレガ政廳ノアル所、即チ蘭領印度ノ首府バタバヤ、コレガ瓜哇ノ東ノ方ノ端ニナツテ、一番大事ノ所デ、スーラバヤ、コノ中ニアルノガンロー、ソレカラサマラング、ジョツキヤ―コノ五大都會デアリマス、其内濠州ニモ接近シテ居リ、商業上軍事上、至大ノ關係アルノハスーラバヤ市デ、其人口モ一番多ク十二万四千、ソレカラバタバヤ市デ十一万四千、其次ノソーロ―ガ十萬四千、其次ガサマ―ラングデ八万三千、ジョッキヤ―ガ五万八千、デアリマス。コノソーロ―トジョッキヤ―ニハ昔ノ王族ガ殘ツテ居ル。ソレカラ、縣ノ人口稠密ノ度ヲ舉ルト、バゲレン縣ガ一番稠密デ、日本面積ニシテ、一

方里ニ六千五百人カラ居ル、一番稀薄ナノハベス。キデ、コノ縣ニハ一方里ニ千百三十人、全嶋平均二千九百四十人バカリデアリマス。斯ク人口ノ稠密シテ居ルノハ、世界中稀ニ見ル所デアリマス。

コノ人口ガ漸々ニ殖エル、ソレハ多ク土人デ、一ケ年間ニ大凡六十万入位デ、餘程盛ニ殖エル様デアリマス。壽命ハ長活キモシマセヌガ、何シロ早婚ノ所デ、至ツテ生活モ容易イノデ斯ク殖エルノデアリマセウ。

次ニ氣候ハ如何デアアルカト云フニ、一体ニコノ赤道最寄りハ、概シテ空氣ガ濕ツテ居ル。又随分暑イ所デ、攝氏ノ三十五度以上ニナルコトハ幾ラモアリマス。併シ斯ウ云フニ圖ヲ指スニ山ノ方ニ上ガリマス、ト、左程デモアリマセンガ、此邊ノ所ハ年中暑イノデアリマス、山ニハ雪ガアルト云フコトハアリマセヌ。風ノ方向ハ年中二ツシカナイ、ソレハ東南ノ風、東南ノ風ハ乾イタ時、即チ四月カラ十月頃マデ、ソレカラ西北ノ風、コレハ濕ツタ季節、即チ十月頃カラ翌年ノ四月頃マデ吹クノデス、ソノつなぎ目ニ丁ル三週間乃至四週間ハ、風ニ一定ノ方向ナク、風ノナイコトモアリ暴風雨ノコトモアツテ誠ニ穩カデナイ、其頃ジ一番身体ノ健康ニ惡ルイ時デアリマス、私ノ往ツタ時ハ丁度濕潤季节、毎日ノヤウニ雨ガ降ツテ居マシタカラ、大層雨ガ多イデハナイカト言ツタラ、今歲ハコレデ尠イノダト言ハレマシタ。コノ雨ハ半年降ツテ後ハ降ラスノデアリマスガ、ソレデモ中々降ル、十年以上ノ平均デ、一年四米以上降ルト云フ觀測所ガ、方々ニ七ヶ所バカリアリマスカラ、餘程雨ハ多イ所デアリマス。

ソレカラ物産ノコトヲ申シマス、コノ邊ハ一体ニ今モ御話致シマシタ通り、雨ガ多イノデ土地

ガ豊饒デアルカラ、從ツテ種々ノ物産ガアル、ソノ重モナルモノハ砂糖、珈琲、米、煙草、胡椒、玉蜀黍、規那、塩、ナドデアル。其内一番大事ノ輸出品トナツテ居マスノハ砂糖—コレガ一昨年ノ輸出高ハ、疋デ申シテ五億七千五百、價額ニシテ八千六十万鎰ソレニ亞イデ珈琲ガ一億八千九百疋價額ニシテ五千四百七十万鎰、ソレカラ煙草ガ三千三百万疋、價額ニシテ三千二百八十万鎰、バカリデアリマス。其他ノ輸出品ハ皆コレラノ十分ノ一ニモ及ビマセヌ。此處ニ瓜哇ノ米ト珈琲ヲ少シバカリ持ツテ參リマシタカラ、現品ヲ示ス、アトデ御覽下サイ。

瓜哇ノ土地ハ、個人ノ所有デナク、町村ノ男子ノ共有デアル。其村ノ耕地ガ多イト少ナイトニ因ツテ、差ガアリマスケレドモ、男子一人ニ付四分ノ一、バウカラ十二、バウ位デ、チヨット多イ所デ八町步程ニ當リマス。

牧畜ノ様子ヲ申シテ見マス、コレモ新シイノデハアリマセヌガ、一昨年ノ調査デ、水牛ハ二百六十万頭、其他ノ角ノ生エタ、野羊トカ牛トカ云フ家畜—野羊ガ大變ニ居リマス—ソレガ二百五十万デス、ソレカラ馬ガ二十二万—馬ハ皆小サウゴザイマス。水牛ニハ大キナノガ居リマス、コレヲ盛ニ耕作ニ使ヒマス。

次ニ政府ノ一体ノ行政ノコトヲ御話致シマス、モト千六百年頃マデハ、此處ハ葡萄牙ノ人が持つテ居タノデアリマス。處ヘ和蘭陀人が來テコレヲ逐出シテ、且ツ強大ナル所謂東印度會社ナルモノヲ設ケツレニ大ナル權利ヲ與ヘテ、漸々コノ邊ヲ蠶食シテ行ツテ、千八百年頃マデハ、非常ニ繁昌シテ、盛ニ歐羅巴ト貿易ヲヤツテ居リマシタ。ゲレドモ、追々ニ財政ガ紊レテ、遂ニハ與ヘラレテアツタ。種々ノ特權ヲ皆取ラレテ仕舞ツタ、其時ニハ名コソコンバン—云フヤウナ

モノ、政府モ殆ンド同様ノ有様デアリマシタカラ、今日デモ土人ハ官吏ヲコンバニト云ヒ
 マス、千八百年カラ後ハ、少シバカリ紛擾ガアツテ、英吉利ガ持ツテ居ツタガ、併シ英吉利モ、其當
 時ハ内外頗ル多事デアツタノデ、一八二四年ニ、復ク全然和蘭陀ニ戻シタノデ、ソノ後ハ和蘭陀
 ガ續イテ支配シテ居リマス、今デハ英吉利モ後悔シテ居ルサウデス、其當時ハコノ土地ヲ、不健
 康ノ所トシテ、此所ニ往ケバ歐羅巴人ハ屹度死ヌトシテ甚シク嫌ツタ、デアルカラ流石ノ英吉
 利人モ、手ヲ離シタノデセウ、今日ノ所デハ、此處ヘグーウエルノールジエネラルト云ツテ總督ヲ
 置イテ、コレガ統御ヲシテ居リマス、勿論和蘭陀ノ帝王ノ統下ニ立ツテ、陸軍海軍ノ司令長官デ
 モアリマス、サウシテ其下ニ副總督ガ一人居ル、ソレカラ評議員ミタヤウナ者ガ四人アル、ソレ
 ラデ以テ一ツノ内閣ミタヤウナモノヲ組織シテ居リマス、其下ニ事業ガ大キイノデ、バート
 マンニ私ハコレヲ省ト譯シマシタ、其省ガ七ツアルノデス、即チ陸軍、海軍、内務、大藏、司法、文部、
 文部ノ内ニハ宗教ト工業ガ這入ツテ居ル、ソレカラ、工部省、斯ノ七ツアル、勿論コノ各省ノ卿ハ
 大臣ミタヤウナモノデアアルカラ、閣議ニ參與スルノデアリマス、總督ノ月俸ハ一万一千鎊、各卿
 ハ二千鎊デス
 ソレデ、行政ハ明カニ二ツニ分ケテアル、歐羅巴人ノ行政、土人ノ行政、コノ二ツデアアル、歐羅巴人
 ノ行政ニハ各縣ニ知事ニレシジデントト唱ヘル知事ガ置イテアル、其下ハ大概四ツカ五ツノ郡
 ガアツテ、ソレニハアツシスタントレシジデントト唱ヘテ郡長ガ置イテアル、又其下ニコントロ
 レウルトアスピラントコントロレウルト云フ役ガ設ケテアル、知事ノ月俸ハ千鎊乃至千五百
 鎊デス、ソレカラ土人ノ行政ノ方ハレゼントト云フ頭ガアリ、コレハ昔ヨリノ名族ヲ其儘ニ充

テ、居リマス。彼等ノ行政區ハ、今ノ郡トハ一樣ニハ參リマセヌ、總シテ一地方ノ事ハ頭ガ掌ル、
 デハアリ舛ケレド、其處ニ居ル歐羅巴人ノ郡長ノ監督ヲ受ケテ居ル、併シ法律上郡長ト頭ノ關
 係ハ兄弟ノ關係ト云ツテ居リマス。頭ノ下ニハバチート云フ書記、其下ハウエドノ、其次ハアツ
 シスタントウエドノ、コレハ一級二級ニ分レテ居リマス、ソレカラカバラデツサト唱ヘル村
 長カアリマス。斯様ニ土人ハ自分等ノ主人ト思ツタ居タモノニ、支配サレテ居リマスカラ誠ニ
 始末ガイ、又歐羅巴人モ權威ヲ恣ニスルヲカ出來マセヌ。土人頭ノ月俸ハ千五百鎊デス。
 裁判ノ方モ歐羅巴人ト土人トハ、はつきりト分ツテ居ル。歐羅巴人ノ爲メニハ、普通ノ裁判所ガ
 三ヶ所、大審院ガ一ヶ所アル。土人ノ裁判所ニハ、ヂヤクサト唱ヘル土人ノ裁判官ガ置イテアル、
 其上ニハ歐羅巴人ガ立ツテ居ルガ、コノヂヤクサトハ一方ニハ先程申マシタ土人行政頭ニ屬シ、
 土人ヲ順撫致シマスカラ、大訴訟ハナイト云フコトデス、先ヅ政治ハソソナモノ。
 財政ノコトヲチヨツト申シマス、歲入ハ重モニ輸出稅、輸入稅、地租、營業稅、印紙稅、印紙稅ハ中
 々酷デス、ソレカラ政府ガ阿片園ナヅ土地ヲ貸ス稅、ソレニ鹽ノ專賣、鐵道ノ收入、砂糖ノ賣上、珈
 琲ノ賣上、コレラデ以テ、今年ノ歲入豫算ガ一億五千萬鎊——一鎊ハ七十錢ト八十錢ノ間ニ居リ
 マセウ、デスカラチヨツト一億萬圓バカリニナリマス。歲出モ殆ント同額デアリマス。貨幣ハ、
 金デハ十鎊銀デハ二鎊半(俗稱、リンギツト)、一鎊(俗稱、ルビヤ)、半鎊、四分一鎊即チ二十五、セン、及ヒ
 十分一鎊即チ十、セン、銅デハ二、セン、半ト一、セント半、セン、紙幣ハ瓜哇銀行ト云フノガアツテ、ソ
 レガ獨リデ發行スル、ソレハ五鎊カラ千鎊マデアル、此處ニ良イノハアリマセヌガ、十、セン、ト一
 センノ通貨昔使ツタ錢一二種ヲ持ツテ參リマシタ、此通貨ヲ示スルコト、真中ニ書イテアル

字ガマレ^一外ニ書イテアル字ガアラビヤノ字、即チ右カラ左ニ書イタノデアリマス。
 ソレカラ陸海軍、陸軍ハ士官以上ガ千四百二人、下士以下ガ三万六千六百人、ソレガ所謂蘭領印
 度軍ノ人員、和蘭陀本國ニ藉ヲ以テ居ル兵ガマダ此他ニ在ルノデス。其他所々ニ義勇兵ヤ土人
 舊王族ノ手兵ノ如キモノガアリマス。海軍ハ士官以上ガ二百六十六人、下士以下ハ歐羅巴人ガ
 二千五百三十九人、土人ガ千二百二十人、軍艦ガ二十九艘、其他ニ殖民艦隊ト云ツテ、小サナ軍艦ガ
 二十六艘バカリアルガ、ソレニハ歐羅巴人ガ百二十四人、土人ガ五百四十三人乗ツテ居ル、コレ
 ハ戰鬪ニハ出サナイ、大概運送船ニ使ツテ居ルノデス。
 ソレカラ宗教ハ、國教トシテハ回々教デ、其會堂ハ大概大キナ町ニアルアロンアロント云フ芝
 草ノ廣場ニアリマス。従前ハマホメットノ靈所メツカニ參詣スルト稱シテ新嘉坡邊マデ往ツテ歸
 ヲラ來タ乞食ノ様ナ輩ガ自ラハッヂ^一ト號シ生キ佛ノヤウナ顔ヲシテ、貧民カラ金ヲ貪ルモノ
 ガ澤山アツテ困ツタサウデス、ソコデメツカニ領事ヲ置イテ一々証明ヲ與ヘルコトニシテカラ、幾
 ラカ數ヲ減ジマシタガ、ソレデモ瓜哇カラ出ル順禮ト云フモノハ、名高イモノデアリマス。耶蘇
 教ハ新舊トモアリマス。支那人ハ例ノ關羽ヲ拜シマス。
 教育ノコトハ、歐羅巴人ノ爲メト、土人ノ爲メトニ、學校ガ二種アル。歐羅巴人ノ方ニハ官立ガ百
 二十一、私立ガ十八アツテ、其生徒ハ一万二千六百九十八人、コノ中ニハ、土人ハ取ラス規則デアリ
 マスガ、併シ殆ト十分ノ一ハ這入ツテ居ル、土人ノ官立ハ五百二、私立ガ五百二十一、其生徒ノ數
 ハ十一万八百人、私立ト云フハ重モニ宣教師ノ學校デアアル。其他陸軍學校、工業學校モアリ、又師
 範學校、高等學校ナゾモアル。病院ハ兵營ニ配ツテアツテ、其處ニハ大概陸軍ノ者バカリデアアル

ガ、普通ノ患者モ這入ルコトガ出來ル。其他慈善病院モアリ、癲癩病院モアル。癲癩病院ハ世界
 デモ有名ナモノデアリマス。此所ニ圖ヲ指ス……第一圖ハ總督ノ居ル所、ブイテンツヲルグ此
 所ニモ、スーラバヤニモアルデス。

次ニ貿易ト海運ノコトヲ少シ申シマス。港ハ方々ニアリマスガ、日本ノヤウニ開港場ハ極マツテ
 居テ、何所デモ船ガ着クト云フ譯ニハ行カナイ、アントルポ則チ積替ノ爲メ荷物ヲ無稅留置ス
 ルコトノ出來ル處ハ、パタバヤ、スーラバヤ、サマラング、チエリボン、バダング外三ヶ所ニアリマス。
 輸入ノ總額ハ、瓜哇トスマトラダケデ、一昨年ガ一億一千万鎊デス。輸出ガ同シク一億七千三
 百万鎊、其他島々ヲ合セテ、輸入ガ五千万鎊、輸出モ五千万鎊デスカラ、コノ二島ダケデ、大概他
 ノモノ、倍モ持ツテ居ル譯デアリマス。商船ノ數ハ、一昨々年ノ調デ千九百三十三艘、其内八十
 艘ダケガ汽船、其噸數ガ二十三万七千噸デス。ソレカラ出入ノ船、一昨年中這入ッタノガ五千百
 八艘、總噸數ガ四百三十八万、出タ船ガ五千百二十六艘、噸數ガ四百二十七万、出入共船數ノ六割
 ハ汽船デス。輸入稅ハ從價稅モアレバ、目方デ取ルノモ、嵩デ取ルノモアル、併シ鐵類、機械、其他製
 造ノ原料ダノ、家畜ナヅハ皆ナ無稅デス。輸出稅ハ只二三ノ品ニ掛リマス、ソレモ從價デ大凡百
 分ノ二カラ百分ノ六位マデ、アリマス。
 ソレカラ郵便電信ノコトヲ申シマス、電信ハ六千九百二十三杆、海底電線ハ千四百五十二杆、電
 信郵便ノ收入ガ四十二万七千鎊、郵便局ノ數ハ三百二十一、電話會社ノ數ハ九ヶデアリマシテ、
 大概ノ町ニハ備ハツテ居ル。パタバヤ、ヨリス、スーラバヤマデ九百三十杆間モ一ツツノ會社デ持ッ
 テ居リマス。コレデ一般ノコトハ濟ミマシタ。

サテ今度ハ土木行政ノコトヲ申シマス、先刻モ申ス通り土木ノコトハ工部省デ掌ツテ居リマシテ、鐵道ノ事、建築ノ事、道路ノ事、郵便電信ノ事等モ皆ナ込メテ、工部ノ管轄デアアル。工部本省ニハ六局アツテ、其内三ツハ全ク技術ノ事ノミ掌ツテ居ル、即チ道路、橋梁、建物等ガ一局、ソレカラ灌漑ト排水ノ一ガ一局、鐵道ノ一ガ一局、ソレデ三局、其他ハ通常行政事務ト會計ノ事ヲ掌ツテ居ル。地方ノ土木ノ事ハ、其縣ノ知事ノ管理デアアルノデ、工事ノ設計並ニ施行ノ爲メ、各縣ニ工部省ノ技師若クハ技手が配置シテアリマス、ソレラノ人ヲ名附ケテ、地方勤務ノ人ト云ツテ總テハ百九人アリマス。又知事ハ其部下デ内務省所屬ノ役人ニ、道路ノ小破修繕ヤ、土人ノ舊式普請ナゾ極簡單ナ工事ヲ施行サセルデス、ソコデ地方ノ土木事業ヲ全体ニ監督スル必要ガアリマスカラ、丁度日本ト同シ仕組ニ、土木監督署ヲ置イテアル。

コノ瓜哇島ニハ、土木監督署ガ五ツアル、其所ニ技師以下七十人ノ人ガ配置シテアル、其他政府ノ直轄工事ヲ掌ル爲メニ所々ニ人ガ居ルデス、ソレラト各土木監督署ノ人ト本省ニ居ル技監以下各技術官トヲ合セテ一般勤務ノ人ト唱ヘマス、ソレデ一般勤務ト地方勤務トヲ合セルト三百三十九人居ルノデス、技監ト云フノハ一等ト二等デ、技師ガ一等二等三等、技手ガ一等二等其ノ次ノ監視ト云フノガ一等二等三等トアリマス、月俸ハ一等技監ガ千五百鐘、二等技監ガ千二百鐘、一等技師ガ千鐘、ソレカラ段々下ツテ三等監視ガ百五十鐘デス、技師ノ旅費ナドモ中々たつぶりシテ居リマス、工事ヲ行政上三ツニ分ケテアル、ソレハ第一ガ常式保存デアリ、第二ガ修豫算ハ一度定メマス、ト、五ヶ年間ハ動かサナイ、五年目ニハ時價増減ト云フ一ガアル、第二ガ修繕工事、第三ガ改築若クハ新設工事、コノ二ツハ年々豫算ヲ拵ヘテ出スノデアリマス、各地方ヨ

リハ十一月十五日迄ニ豫算ヲ拵ヘテ出シマス、工部省デハソレヲ集メテ、査定ノ上多少減ラシマスガ、ソレヲ和蘭陀本國ニ送ル、本國デハコレヲ議會ニ掛ケテ、ソレデ宜イトナルト各地方ニモ其決定通リニ施行サセルノデス。

工事施行ノ方法ハ、大概直營カ受負デアリマス。ケレモ地方ニヨリ、土人ハ無償ニテ使役セラル、所モアリマス。受負人ハ歐羅巴人カ支那人デス、原來瓜哇ノ支那人ハ皆土着デ、現ニ數百萬鎰ノ身代ヲ有シテ居ルモノガ幾ラモアリマスカラ、中々信用ガアル、ソレニ一寸器用デスカラ木工ハ支那人ノ獨占ト云ツテモ宜イ。然ルニ此處ラニ來ル歐羅巴人ハ、無賴漢デラウツかりスルト金ヲ取ツテ逃ゲル奴ガ多イ、マタ土人ハ極簡單ノ事デナケレバ出來ナイデス、左様デスナリ受負ナゾヲ爲ル者ハ、マ一無イト言ツテ宜イ位デアリマス。

ソレカラ土木ノ爲ニ供ヘラル、經費…費用ハ今歲ノ豫算テ見ルト二千八百三十萬鎰、即チ今歲ノ總豫算ノ五分ノ一バカリヲ占メテ居ル。ソレヲ分ケテ見マス、和蘭陀本國デ拂フヘキ分カ四百八十萬鎰、此内三百萬鎰ハ鐵道ヲス、蘭領印度ニ於テ拂フベキ分カ二千三百五十萬鎰、其重モナルハ官設鐵道ノ營業ガ四百八十萬建設ガ三百萬、用惡水路ガ三百六十萬、道路橋梁ガ三百六十萬、政府ノ建物カ二百萬、郵便電信ガ又二百萬デス、コレヲ地方ト、政府ノ直轄トニ分ケルト、五百萬鎰ハ地方ノデ、アトハ皆直轄ノ仕事デアリマス。ソレデ今地方ノ土木費ト申レマシタガ金ハ全ク國庫金ア日本ノ如ク、縣稅ヤ町村稅ヲ徵收スルノデアリマセス。

サテ、コレカラ工事ノコトニ及ヒマス。道路、橋梁、鐵道、河川、灌漑工事、港灣工事、衛生工事、山林ノ事コレヲ順ヲ追フテ述ベマセウ。

○道路 橋梁

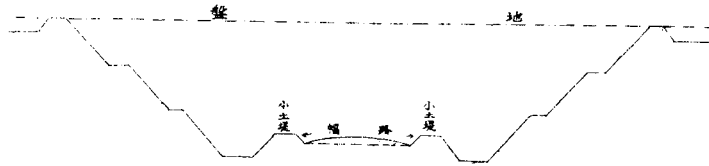
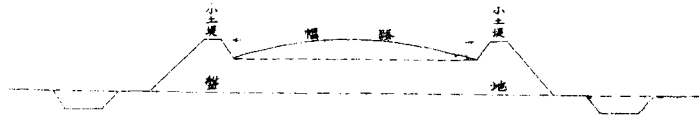
公共道路ヲ分チテ三ツトスル、一等カ大郵便線路、コレハリ圖ヲ指スルコノ嶋ヲ貫クモノ二等ガ内國郵便線路、三等ガ小内國郵便線路、ソレデ一等道路ニ於テハ橋幅ヲ五米半トシ二等デハ四米、三等デハ二米半若クハ二米、斯フ云フ制限ヲ與ヘテアル、延長ハ日本ノ里數ニ換算シテ一等ガ八百二十五里、二等ガ千六百五十四里、三等ガ二千六百三十四里、合計五千百十三里、コレヲ日本ノ國縣道延長ニ較べルト、凡ソ千二百里短ウゴザリマスケレバ、總延長ノ七分ノ一ハ、未ダ正シク路面ノ築造ガ出來テ居ラナイダケデ其他ハ立派ナ道路デアリマス。

路面ノ幅ハ大變不同デアリマシテ、一等道路ハ最近ノ調べニ據ルト、一番廣イ所ガ十四米、一番狭イ所ガ二米、二等道路ハ一番廣イ所ガ十米、一番狭イ所ガ一米、三等ハ廣イ所ガ六米、狭イ所ガ一米、ソレデモ一輛ノ車ノ通ルニ差支ハナイ、最急勾配ハ、實測シテナイカラ分リマセヌガ、凡ソ七分ノ一デブレアンガー縣ニアルサウデス。一番高イ點モ能ク分リマセヌガ、海面上凡ソ五千尺位ダサウデス。

ソレデ、瓜哇ノ道路ノ横断面ニ就テ見ルト、奇体ナ小サナ土手が拵ヘテアル、斯ウ云フハ圖ヲ畫ク……第二圖第三圖……土手が兩側ニアル。ソシテマタ十米毎ニチヨット切レ目ガアル、其切レ目カラ水ガ兩方ニはけるノデアアル。

ソレカラ、路面ヲ造ル重モナル材料ハ、砂利、其次ガ珊瑚屑、其次ガ碎石デアリマス。是ガ今ノハ圖ヲ畫ク……此圖略スル路面ノ築造法デス、先普通ノ所デ粘土質ノ地盤ト仮定シテ、

第二圖



第三圖

コレヲ斯ウ十五糎乃至廿糎掘リ起シ一番下ニ厚四五糎ノ珊瑚屑ヲ敷キ其上ニ砂ト水トヲ混
 ゼタル第二層ヲ敷キ基礎ヲ作り、ソレヨリ荒砂利ヲ敷キ、丁度四層デ表面ニ
 達スルヤウニ致シマス、決シテ粘土ノ上ニ直チニ砂利ヲ敷クヤウナコトハシナイ、ソレニマタ
 修繕モ能ク行届イテ居ル、和蘭陀本國ニモ其位ノ道ハ無イト云フ位デアリマス、日本ナゾハ誠
 ニオ恥カシイ次第デアリマス、修繕ノ仕方ハ、所々ニ溜砂利ヲ置イテ、毎日村ノ者ガ出テ、先ヅ直
 ス所ハ掘リ起シテ、サウジテ砂利ト水トデ丁寧ニ搗固メル、一日ニ幾ラモ出来マセヌ、其代ハリ
 ニハ翌日カラハ何シテ交通ニモ差支ナイ、ソレデ暑イ所デアルカラ、年中休ナク働クコトガ出
 來ル、加之朝六時カラ晚六時マデ充分日ガ出テ居ルノデ都合ガ宜イ、保存ニ要スル砂利ハ路面
 百平方米ニ付一立方メートル見込ムサウデス、其他ニ大キナ修繕トカ、新シク拵ヘル時ノ材料并ニ
 人夫ナゾノコトハ、一定ノ雛形ガ、工部省ノ訓令ニ出テ居リマス、ソレハ今日ハ省キマシテ、會誌
 ニ出スコトニ致シマセウ、

長一米巾四米深二十糎ノ路面築造及ヒ定式修繕ニ要スル材料及ヒ歩掛ハ左ノ如シ

路面築造

定式修繕

屑石(若クハ割栗石)	〇・六〇	立方メートル	砂利	〇・二	立方メートル
砂利	〇・三四	同上	人夫	〇・二	人
砂	〇・四〇	同上	人夫	〇・〇一	同上
人夫	五	人			
人夫頭	〇・二五	同上			

コノ訓令ハ原書ヲ示ス。單ニ道路バカリデナシニ、普通ノ土木ノコトハ網羅シテアリ。豫算ヲ拵ヘル標準ニナツテ居リマス。只地方々々ノ時價ヲ入レ、便宜シイノデアリマス。其他道路ノ撰定并ニ構造ニ付簡單ナル冊子。原書ヲ示ス。ガ出來テ居ル、コレハ監視デモ誰ニデモ分ルノデアリマス。マタ一般受負ノ仕様書モ原書ヲ示ス。出來テ居ル、コレラハ皆ナ本國ノ真似ヲシタノデ、本國ハ何デモ成文デアリマス。日本モ少ナクモコノ位ノコトニハ致シタイモノデアリマス。

ソレカラ道路ノ使用制限デス。第一、車軸ニ固着シタ滑車ト輻ノナイ車ハ許サナイ。第二、二輪車ノ積載量七百五十疋マデノモノハ無制限。第三、七百五十疋以上千六百疋マデノ二輪車ハ輻ヲ廣クシソノ一種ニ付積載量百疋ノ割合ヲ超過シテハ行ケナイ。第四、積載量千六百疋以上ノ二輪車若クハ三千一百疋ノ四輪車ノ使用ニ付テハ特ニ地方長官ノ認可ヲ受ケナケレバナラス。

樞要ナ道路ニハ凡一里半毎ニ、ポスト云ツテ全ク道ヲ蔽フタ休ミ場所ガアル。第四圖。一里半ハ近カ過ル様デスケレ、熱帶地方デハ馬モ弱クテ勞働ニ堪エマセユカラ丁度宜シイ、吾々ハ馬車ニ乗ツタ儘デ其休ミ場ニ這入ト道ノ両側ニアル馬小屋カラ直グ馬ヲ出シテ來テ繫ギ替ヘル、其ノ間、客ハ車上ニ休ムノデアアル、一体コノ馬ハ官ノ馬デ、客ガ來タ時ニ繼出シテヤルト云フ受負ニナツテ居ル。コレハ大概支那人ガ掌ツテ居ルノデ、三年若クハ五年ノ契約デアアル。コノ驛傳ノ方法ハ元來官吏ノ旅行ノ爲メニ拵ヘタノデアアルガ、公衆モ利用シ得ルノデアリマス。



圖 四 第

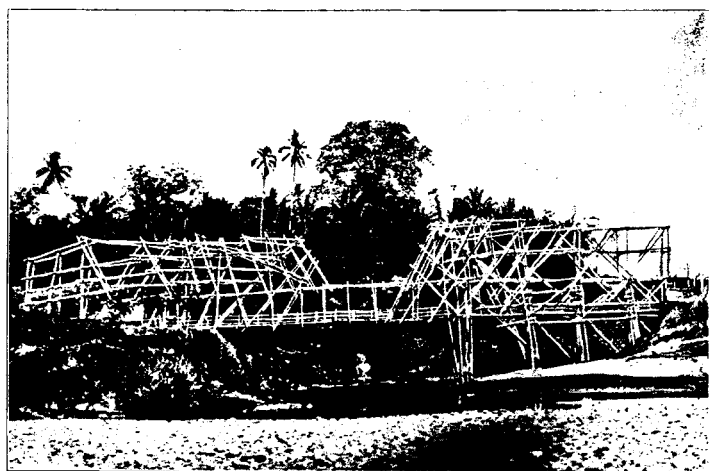


圖 五 第

小川一真製

ソレカラ橋梁暗渠、水抜キハ、凡ソ五万アリマス、橋梁ニハ石橋モアリ、鐵橋モアリ、其大部分ハ立派ナ石工ノ橋臺ヲ有ツテ居マス、比較的ニサウ云フ堅牢ノモノガ多クアリマスカラ、修繕費ガ大變勤ナイデス、ソレハ千八百五十年來成ルタケ永久ノ構造ノモノニシヤウ、ト云フ政府ノ方針ノ結果、デアリマス、鐵橋ハ十二米半以上四十米マデソノ重量ナゾノコトモ分ツテ居リマスガ、ソレヲ申スト繁雜ニナリマスカラ、會誌ニ載セルコトニ致シマセウ。

普通桁構鐵橋ノ種類及ヒ重量ハ左ノ如シ。

(甲) 下路橋

長十二米半乃至十七米半ノ橋ハ、上臥材ヲ水平トシ、二十米以上ハ、拋物線狀トス。

實用巾	二			四			五		
	分格數	中央高	重量	分格數	中央高	重量	分格數	中央高	重量
長 米 一一・五〇	六	一・八〇	五、四六五 _貳	六	一・九〇	九、四三五 _貳	六	一・九〇	一一、八六八 _貳
一一・五〇	六	二・一〇	六、五七五	七	二・一〇	一一、九五二	七	二・一〇	一五、二八九
一七・五〇	六	二・五〇	七、八〇〇	八	二・五〇	一四、七七七	八	二・五〇	一九、三三二
二〇・	七	二・七四三	九、七〇〇	八	二・七五	一七、五四二	八	二・七五	二三、一四五
二二・五〇	七	二・九四	一一、八六四	九	二・九六五	一九、九六五	九	二・九六五	二五、九八七
二五・	八	三・五〇	一三、八四	九	三・四五七	二二、三五二	九	三・四五七	三〇、七〇六
三〇・	一〇	四・	二一、六七	一〇	四・二〇	二九、一七八	一〇	四・二〇	三七、九八一
三二・五〇	一一	四・四五	二四、九〇〇	一一	四・四三	三三、八七二	一一	四・四三	四一、八六九
三五・	一二	五・	三三、三九七	一二	五・二〇	四一、四七	一二	五・二〇	五九、六四二
四〇・	一三			一三			一三		

(乙) 上路橋

臥材ハ凡テ水平トス。

實用巾 長	二			四			五		
	分格數	高	重量	分格數	高	重量	分格數	高	重量
一五・ ^米 五〇	七	二・四〇	一〇、七五二	七	二・二五	一三、五二四	七	二・二五	一七、二六四
一七・五〇	七	二・六〇	一一、九六二	七	二・六五	一五、八七一	七	二・六五	一九、一二六
二〇・	八	二・六〇	一四、六四	八	二・七〇	一八、〇〇	八	二・七〇	二二、五七四
三・五〇	八	二・八五	一七、〇六	八	三・	二一、一八四	八	三・	二六、四四五
二五・	八	三・一五	一八、三〇三	八	三・三〇	二四、五九二	八	三・二九	二九、九九八
二七・五〇	九	三・五〇	二二、四九	八	三・九〇	三二、九七五	八	三・六五	三三、九五八
三〇・	九	四・	二九、九〇	九	四・四〇	四一、三五六	九	四・四〇	四九、〇五九
三五・	一〇	四・	三九、六二	九	五・	四八、八四九	九	四・四〇	五九、九六六
四〇・	二	四・五〇	三九、六二	一〇	五・	四八、八四九	一〇	五・	五九、九六六

〔備考〕 右二表中長トハ、橋臺又ハ橋脚ノ間隔ヲ云フ。

右二表ノ鐵橋ノ設計ハ、左ノ荷重ニ堪ユルモノトス。

巾三米ノモノ、積載量共二千五百疋ノ一軸二輪車、曳馬五百疋及ヒ車輛ノ左右橋面一平方米ニ付、三百五十疋ノ等布荷重。但前車ノ軸ヨリ後車ノ軸迄ヲ六米トス。

巾四米及ヒ五米半ノモノ、積載量共六千五百疋ノ四輪車(若クハ三千五百疋ノ二輪車)、曳馬千疋、及ヒ車輛ノ左右橋面一平方米ニ付、三百五十疋ノ等布荷重。但前車ノ後

軸ヨリ後車ノ前軸迄ヲ十一米トシ、又四輪車ノ軌ヲ一米半、前輪後輪ノ間隔ヲ三米トス。

ソレカラ橋ハ、印度麻栗樹ヲ煉瓦ノ大サニ切ツテ一杯ニ敷詰メタモノガ澤山ゴザイマス、コノ寫真ハ拙イカ知レマセヌガ、私ガ面會シタ土人ノ酋長ガ撮ツタモノデアリマス、ソレヲ御覽ニナルトオ分リニナリマセウ、又橋ノ前後踏掛板ニハ數條ノ鐵板ヲ打付ケ、馬ノ足止メトスルトカ、橋面ニハ鐵板二條ヲ敷キ車輪受トスルトカ、中々用意周到デス。

此處ニ寫真ヲ示スニニアリマスノガ竹ノ橋ニ第五圖ニト、渡船場ノ寫真デアリマス。

車ノ名稱ナヅニモ色々アリマスガ荷物ノ車ハグロバクト云ツテ、誠ニ見苦シキモノ。人ノ乗ルノデハ最多イノガドサドス則チ馭者ト客トガ背ト背トヲ合ハセルヤウニ乗ル車、ソレカラ、ウ井ツサウ井ツス、デーレマン、ミロルド等デス。道路ノコトハコレデオ仕舞ヒニシマシテ、鐵道ノコトニ移リマス。

○鐵道及ヒ軌道

鐵道ハ此處ニ圖ヲ指ス…第一圖ニ舉ゲテ置キマシタ、黒イノガ官設、赤イノガ私設鐵道デアリマス。瓜哇ノ鐵道ノ始マリト云モノハ、サマラング港ヨリ昔ノ王族ガ居ルソロー、ジヨツキヤ一迄トバタビヤ府ヨリ總督ノ住ンデ居ル、ブイテンツタルグ村迄ハ交通頻繁デ、工事モ容易デスカラ、ソコヲ附込ンデ、蘭領印度鐵道會社ト云フモノヲ起シテ、九十九年間ノ特許ヲ得タノデス。サウシテ今ヨリ丁度卅年前サマラング港ヨリ二十五杆間開業シテ、ソレカラ追々ニ方々ヘ出來タノデアル、ソレ故妙ナ所カラ敷キ出シタヤウニナツテ居ル。困難ノ場所ハアト廻ハシニ

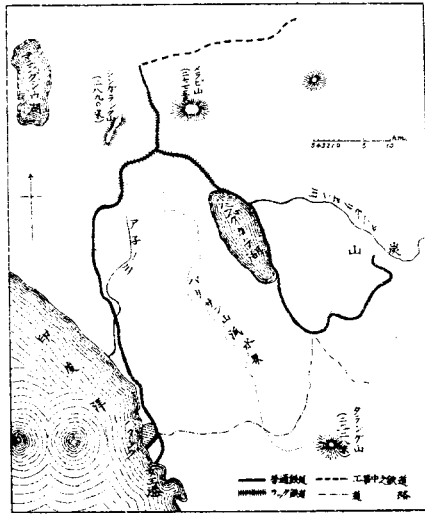
ナツテ、コレハ官デ敷イタノデアリマス。昨年末ニハ、瓜哇ニ千五百二十軒スマトラニ二百八十軒バカリノ鐵道ガアリマシタ。スマトラハ私ハ參リマセムガ、幸ヒ一夕、ソコノ鐵道技師長ノ演説ヲ聞キマシタカラ、少シ御話ガ出來マス。

コレガハ圖ヲ指ヌ……第六圖ハシングカラト云フ湖水、コレガランビリエント云フ河デ、此邊一圓ガ所謂ランビリエン炭山、以前ハコノバタング港カラ炭山ニ行ク道路ハ斯ウ附イテ居タ者デス、コノ處ノ山脈ハスマトラノ山脈デ、三千米以下デスケレ共、印度洋カラ急ニ上ガツテ、サウシテコチラニ垂レテ居ル、丁度台灣ヲ右左ニ見タヤウデスカラ道路ノ勾配ハ非常ニ急ナモノデ、鐵道ハ之ニ沿フコトガ出來ナイ、ソレデ今カラ六年前ニ、斯ウ云フ風ニシテ、コレカラ先ヅ斯ウ上ガツテ行ツテ、サウシテアネート云フ川、コノ川ノ谷ヲ沿フテ、コノ邊カラハ非常ニ急ダカラ、ラツクレールニシテコノ湖水ニ就テ成工シタノデス。然ルニ其翌年アチー川ガ大洪水デ大分毀ハレマシタ、其景況ヲ幻燈ヲ見マレタガ、日本ノ谷川ニ沿フタ鐵道ノ被害ト少シモ違ハナイヤウデアリマス。只今申シマシタ、バタングト云フ處ハ人口三万モアツテ、ソレヨリ少シ距ツタ所ニエンマハーベン又女王港ト云フ新港ガアル、ソコニハ盛ンニ石炭ヲ卸ロス裝置ガ出來テ居ル。

軌間ハ普通一米〇六七則チ約三呎六吋デスケレ、蘭領印度鐵道ノ分ハ一米四三五デス。

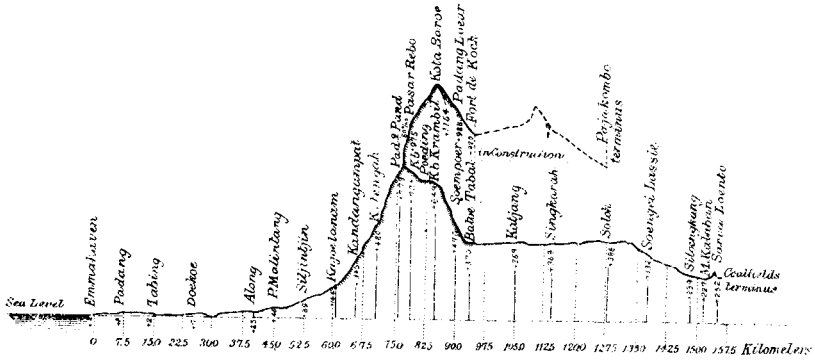
瓜哇ノ鐵道ノ勾配ナゾノコトハ、コレガハ圖ヲ指ヌ……第七圖ハタバピヤニ起ツテストラバヤニ至ル縦貫線ノ断面デス、御覽ノ通り西部ハ餘程烈シイ上リ下リガアル、コレガ、ブイテンツラルグンレカラズツト上ガツテ、斯ウ下ダリ、タロム川ヲ渡リ、斯ウ來テマヌク川ヲ渡リ、コノ邊カ

スマトラ鉄道平面畧圖



第六圖

スマトラ鉄道縦断面圖



第八圖

ラ平ラノ沼ニナリマス、此邊ハ誠ニ厭ナ所デス、其ヨリ東ハ甚ダシイ起伏ガナイ、一番急ナ勾配ハレ、ストナグレノ間デ二十五分一デス、ソレガ三軒モ續イテ居リマス、一番高イ所ハ海面上八百六十四米デス、最小半徑ガ百五十米、一番短イタンセントガ四十米デアリマス。

旅行ノ順序ヲ申ストバタバヤカラス、一ラバヤ迄ガ九百三十六軒其旅行ハ今日デハ一日ニ出來ルカ知リマセヌガ、私ノ往ツタ時ニハ出來マセヌデシタ、ドウシテモ此處マラスニ一夜泊マラナケレバナラス、何故ナレバ土人ハ夜行ヲスルコトヲ嫌ガル、昔此邊ニ虎ガ住デ居タ時分ノコトヲ言ツテ居テ、嵐車ガ出來テモ夜旅ヲシナイ、若シ夜中列車ヲ運轉スルトスレバ、極僅カノ歐羅人ノ爲メデスカラ、經濟上考モノデス、マラスニハ官設鐵道ノホテルガ只一軒アリマス、サウシテ兩方カラ來タ客ガ此處ニ泊ルコトニナツテ居ル、ス、一ラバヤカラ來マス、トブレ、クヲブゲ、一ジガアリマス、カラ此處ソ、一ローデ、乗換ナケレバナラス、ソレカラ六十軒來テ復ジョツキヤ、一デ、乗換マス、尤モ停車場ノ内デ乗換ルノデアリマス、カラ、譯ハナイヤウナモノデス、ガ一日ニ二度乗換ヘルト云ノハ至極不便ナモノデス。

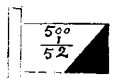
ソレカラスマトラノ方ノ勾配ナゾデアリマス、ガ、コレハアスコニ書イテ置キマシタガ、一圖ヲ指ス、一第八圖、一御覽ノ通り、此邊カラ非常ニ急ニ登ルノデアリマス、十二五分ノ一即チ百分ノ八ガ最急勾配デ、其他百分ノ七、百分ノ六ト云フ、急ナ所ガアリマス、ソシテ一番高イ所ガ、海面上千五百四十四米デス、ラツクノ所ハ十九哩バカリデ、最小半徑ハ百五十米デス。

ソレカラ軌條ハ普通ノモノガ二十五瓦機關車ハ二十五噸乃至三十三噸、列車ハ七十噸カラ八十噸、速サハ一時間平均三十五軒デス、一今ノ話ハ瓜哇ノ話デス、スマトラデハサウハ參リマセ

又、ラックヲ使ヒマスカラ、ラックレールウエーノ機關車ニトランスミツシヨントダイレクタクティングトニタ通りアル、此頃來マシタエンジニヤリングニ詳シク出テ居リマス。其機關車ハ二十二噸カラ二十六噸デス、マタ列車ハ登リ四十五噸降り五十噸デ、速サハ一時間十八杆乃至廿四杆デス。

ソレデベルマチントグエーノコヲ少シ御話致シマセウ、土人ハ墜道ヲ嫌ヒマスカラ、可成ソレヲ避ケマス、瓜哇ニ低イ所ニ短イノガニケ所シカナイ、其代リ三十米ノ切取ナゾガアル。ソレカラ有名ナ雨ノ多イ處デノカラ、バラストングヲ確カリ掌リ、両法モ張石ナゾデ充分ニ防禦シテアリマス。モウ一ツノ注意ハ、コレハ日本ノ鐵道ナゾニ大變大事ナコト、思フノハ、小サイ川デモ、決シテダイバルトシナイテ、其儘ニシテアルカラ無理ガナイ、ソレガ爲メ一寸シタ水デ橋臺カ顛覆シタト云フ例モナイ

次ニ運轉上必要ナ目標ノ内デ重ナルグレードポスト、コレハ線路ニ直角ニ高く出テ居ル板



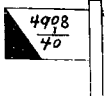
第九圖

ハ上リ
五分一
五百米長



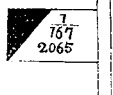
第十圖

ハ下リ
一分十
百廿六米長



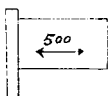
第十一圖

ハ下リ
四分十
八千九百四米長



第十二圖

ハ上リ
一分六
七百六十二米長



第十三圖

ハ水平
五百米長

様ニシテアリマス。又曲線部ノ兩端ニハ此位ニ圖ヲ書キ示スノ大キサノ板ガ打ツテアツテ

デス、|| 圖ヲ書キ示ス、|| 第九圖等 || ソノ板ヲ半分ハ白ク半分ハ黒ク塗ツテ、ソレデ上リ下リヲ分ル

半徑S曲線長WスーベルエレヴエシヨノVガ記イテアリマス。コノスーベルエレヴエシヨ
ハ、餘程大イト見エテ、乗ツテ居テ、能ク感ジマス。

シグナルハ大概大キナ圓形ノ鐵板デス、ソレヲコチラデ申シタナラ、ホームジグナルトデスタ
ントシグナルノ間位ノ所ニ置マシテ、ホームシグナルハ認メマセヌデシタ。

鐵道ノコトハ大体此位ニシマシテ、猶ホ一ツノ交通機關ナル蒸氣軌道即チスチームトラムヴエー
ノコトヲ申シマス。此處ニ圖ヲ指ス…第一圖ニ綠色ニ記シテアツテ、重モニ都會ニアルノデス。
ケレドモ田舎マデ延ビテ特殊ノ交通機關トナツテ居ルノモアル。例ヘバサマラングノ奥ニ石
油ガ出ル、ソコマデハ立派ナ道デスカラ、其片側ニ持ツタイイッテ軌道ガ敷イテアル。駐車場ト云ツ
タ所デ、別ニ建物ノ設ケハナクシテ、タ、駐車場ト云フ表札ガアル、其處ニ來ルト止マリ、客ヲ乘
降サセル、コレハ餘程輕便ナ鐵道デ、日本ナゾニモ將來斯ウ云フ様ナモノガ宜カラウト思ヒマ
ス、コノ軌道ノ總延長ハ四百十三杆デ、グーヂハ一米〇六七ト一米一八八ト一米四三五ノ三種
アリマス。エンヂンハ能ク分リマセヌガ、餘程小サイ、大概市街ニ來ルモノデアルカラ、馬ヤ何カ
ハ驚ロカヌヤウニ、車ノ周回ヲ包ンデアリマス。町ノ中デ脱線ナドヲシテハ大變デスカラ、ガ
ドレールガ敷イテアリマス、ソレデ一昨年末マデノ瀛車鐵道ト、蒸氣軌道トヲ對照シテ、少シハ
統計ヲ拵ヘテ參リマシタ、即チコレハ蘭領印度殘ラズノ統計ト御承知下サイ。

建 設 費	事 項 別	
	瀛 車 鐵 道	蒸 氣 軌 道
一四六、三三三、九九九 <small>續</small>		九四六〇、三〇四 <small>續</small>

貨物	噸		數
	一噸平均運賃	一噸一籽運賃	
貨物	一噸平均運賃	一噸一籽運賃	數
列車	走行	籽數	數
旅客	乘車	延籽數	數(甲)
貨物	噸	籽數	數(乙)
車軸	籽	數	數(丙)
日	籽	數	數(丁)
旅客	密	度	度(甲)
貨物	密	度	度(乙)
密		度	度(丙)
			度(丁)

一、八八〇、三三二	二四六、〇八九
官用貨物ヲ除ク	二八四
四三二	六三
五〇	
六、二一四、九〇二	一、七〇九、二八六
二七〇、七〇五、九〇二	六六、一一八、三七七
一六二、九四三、六一六	一〇、九二七、五三二
一三三、四六一、九〇八	二二、五七八、六四二
六三〇、九三一	一一三、五一六
四二九	五五〇
二五八	八八五
二一一	一八三

(コレヨリ統計表ノ數字ニ就キ説明セラレタリ)

マダ私ノ專問ニ屬スル河川ヤ、其他ノコトヲ申上グマスト、逆モ一二時間位デハ濟ミサウモゴ
ザイマセヌカラ、今日ハコレダケデ止メテ、河川、灌溉、ソレカラ港灣衛生、山林、コレラハ此次ニ致
シマス。

質疑及論評

會長(倉田君) 唯今ノ御演說ニ對シテ何カ御尋ネニナルコトガアリマズレバコレカラ御質

問ヲナスツテ宜シウゴザイマス。
 別ニモウ御質問モナイヤウデアリマスシ、ドウセコノ御演説ハ次ノ會ニ續キマスコトデアリ
 マスカラ、次ノ會ニ御質問ヲナサルコトニシテ……今晚ハ殊ニ御忙イ所ヲ御操合セ下サイマ
 シテ、有益ナル御演説ヲシテ下ダサレタコトハ、一同ガ謝シマスコトデ、尙ホ柏手ヲ以テ謝意ヲ
 表シタイト思ヒマス。

一同 柏手

論説及報告

公立小倉病院計畫(承前)

公立小倉病院本館建築仕様書

藤澤輝昌君

一 建坪貳百四拾壹坪

内譯

貳階建桁行拾間此建坪七拾坪

但外側通側石花崗石貳段定規柱隅々造リ出シ据石上端ヨリ軒桁桁迄貳拾六尺八寸五分
 家根方形五寸五分勾配土居葺杉木板貳寸五分足、切込機瓦葺、白漆喰、軒踏下ゲ、外部上下硝
 子窓附、西洋下見板張、鼠ベンキ塗、内部木摺壁、階下、天井蛇腹、引物塗、及塗天井、階上壁同斷各
 室天井蛇腹、引物塗打上ケ天井、西洋紙張、各室ランプ釣ヲ設ク